

あ

ASR(自動車シュレッダーダスト)

使用済自動車は解体事業者によって燃料、オイルなどが処理された後、エンジン、トランスミッション、タイヤ、バッテリーなどの部品に仕分けられ、リサイクルされる。残ったボディなどの部分はシュレッダーという機械で破碎され、最終的に鉄・非鉄金属類はリサイクルに回り、残された残留物をシュレッダーダストという。現在、この残されたシュレッダーダストについても、リサイクルする技術を開発中である。

ELV に関する欧州議会及び閣僚理事会指令 2000/53/EC

(欧州 ELV リサイクル法)

ELV(End-of-life Vehicles 使用済自動車)からの廃棄物の発生を防止し、廃棄物の処分を低減するため、再使用、再利用、再生を目指し、関係事業者の環境保護能力の向上を目指す方策を規定したものの。

温室効果ガス

太陽の光により暖められた地面が放出する熱(赤外線)を吸収し、地球温暖化の原因となる気体(CO₂、メタン、代替フロン類など)。温室効果ガスは熱を吸収し、大気を暖めているが、この濃度が高まり熱の吸収が増えると気温が上昇し、地球が温暖化することになる。

か

環境負荷

環境基本法では、「人の活動により、環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。」としている。

環境マネジメントシステム(EMS)

環境マネジメントとは、企業活動の一環として環境保全への取り組みを位置付け、これに関して計画、実行、評価を行い、評価を踏まえ次の目標にまた継続して取り組んでいくことをいい、この作業を管理していく組織的な仕組みを環境マネジメントシステムという。

グリーン購入法

国等の公的機関が率先して環境物品等(環境負荷低減に資する製品・サービス)の調達を推進すると共に、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指している。(2001年4月施行)

コンパチビリティ

「共存性」の意味。大きいクルマと小さいクルマが衝突した場合、一般的には小さいクルマの方が被害は大きくなる。そのため、重量、剛性及び車高等を最適化することで、大きいクルマの加害性を少なくし小さいクルマの被害を軽減させるという考え方。

さ

サーマルリサイクル

廃棄物を単に焼却処理するだけでなく、熱エネルギーとして回収し有効利用すること。例えば、ごみの焼却時に発生する熱は冷暖房や温水などの熱源として一般的に利用されている。また、固形燃料化(RDF・RPF)したり、油化させたりすれば、燃料としても利用できる。

3R(Reduce, Reuse, Recycle)

廃棄物対策として、製品の省資源・長寿命化や生産工程における副産物の発生を抑える排出抑制(リデュース Reduce)、部品の再使用など(リユース Reuse)、再生利用(リサイクル Recycle)などを通じて廃棄物減量化を進めることが必要とされている。

自動車リサイクル法

(使用済自動車の再資源化等に関する法律)

使用済自動車のリサイクル・適性処理を図るため、自動車メーカーを中心とした関係者に適切な役割分担を義務付ける法律。自動車メーカーには、エアコンに使われるフロン類、シュレッダーダスト、エアバッグをリサイクルもしくは適正処理することが義務付けられた。

自動車リサイクル法は、①廃棄物の最終処分場が残り少なくなったことによるシュレッダーダストの減量化、②不法投棄・不適正処理の防止、③オゾン層破壊・地球温暖化等の環境問題への対応、などの必要性から制定された。わが国における循環型社会構築のための重要な法律と位置付けられている。(2002年7月公布)

循環型経済社会

これまでの大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして、廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用を考え、新たな資源の投入をできるだけ抑え、自然生態系に戻す排出物の量を最小限として、環境への配慮と経済合理性の追求の同時達成を目指す経済社会。

使用済自動車

運行の用に供さなくなり、解体・破碎・焼却・埋め立て等、処理・処分される自動車。(二輪車も含む)

成層圏プラットフォーム

成層圏とは、一般的に高度約11km程度の対流圏界面から高度約50km程度の間の大気層のことで、高度が上がるにつれて気温が上昇するという、対流圏とは逆の温度こう配を持ち、空気は上下方向には混じり合わず層状をなす。台風や雲等の気象現象はほとんどが対流圏内の現象であり、成層圏にはほとんど影響しない。成層圏プラットフォームとは、上記のような特徴を有する成層圏に長期間にわたり一定場所に滞留する飛しょう体のことをいう。飛しょう体の種類として、飛行船タイプと飛行機タイプとがある。

ゼロエミッション

産業活動などで排出される廃棄物の再利用や、廃棄物発生を抑制することで廃棄物のない社会を目指す、循環型社会を構築しようとするものである。ゼロエミッションはさまざまな意味で用いられているが、当社では、工場から出る埋め立て廃棄物をゼロレベルとするゼロエミッション活動に取り組んでいる。

た

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾパラダイオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)の総称である。塩素の付く位置や数により、多くの種類があり、種類によって毒性が異なり、奇形性・発癌性を示すものがある。ダイオキシン類は他の化学物質の製造や燃焼などに伴って気が付かないうちに発生する。ダイオキシン類特別措置法(1999年7月公布)ではPCDDとPCDFにコプラナーPCBを含めて「ダイオキシン類」と定義している。

な

ノーマライゼーション

「正常化」の意味。障害者や高齢者など社会的に不利な人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。また、それを目指した環境づくり。

は

PRTR 法(化学物質排出管理促進法)

工場などから排出される化学物質の排出状況を把握し、都道府県を通して国への報告を義務付ける法律。環境汚染の恐れのある化学物質の環境中への排出量または廃棄物としての移動量を登録し、国が集計・公表する仕組み。第一種指定化学物質は354種類。(2001年4月本格施行)

VOC(揮発性有機化合物)

空気中でガス状で存在している有機化合物の総称。トリクロロエチレンやテトラクロロエチレン、ホルムアルデヒド、トルエン、ベンゼン、キシレンなどさまざまな物質がある。油脂類の溶解能力が高く、分解しにくく安定していて燃えにくい性質から、1970年代には理想の洗浄剤として産業界で普及したが、吸入による頭痛やめまいなどの有害性や発ガン性などの可能性が指摘されている。